

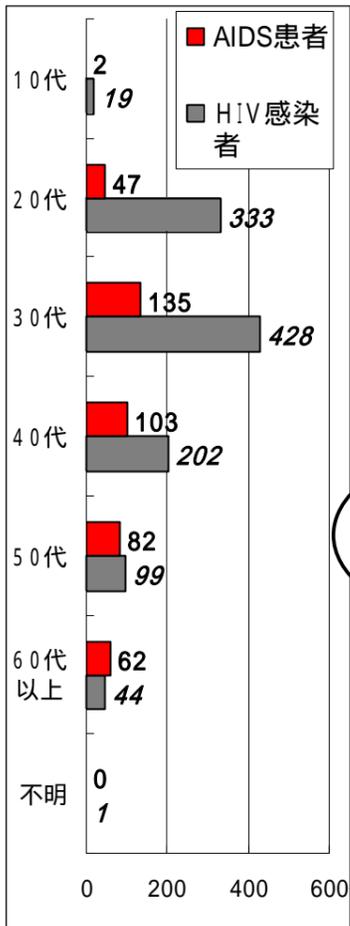


まだまだ、
増え続けて
います！

2008年に新しくHIV感染者・AIDS患者と分かったのは1,557件で、1日あたり4.3人の人が感染していることとなります。しかし、この数字は検査を受けて、HIV感染が分かった人たちなので、実際にはもっと多くのHIV感染者がいると思われます。

若い人の感染が多いって 聞くけど本当？

2008年・年齢別
新規HIV感染者・AIDS患者データ



左のグラフを見ると分かりますが、20代・30代の感染者・患者は他の年代と比べ、とても多いのです。他の年代も増加傾向にあります。



“HIV”と“AIDS” どう違うの？

“HIV”とは、Human Immunodeficiency Virus の略で、日本語ではヒト免疫不全ウイルスといい、このウイルスが体の中に入って増殖することを“HIV感染症”といいます。このHIVは、感染すると、長い時間をかけ（数年から十数年）体を病原体から守ってくれる免疫細胞（リンパ球）を壊していきます。免疫が破壊されると、健康な時にならないような病気になってしまう状態を“AIDS”といいます。

HIV感染からAIDS発症まで



エイズ 知っていますか？ HIV・AIDSのこと

12月1日は世界エイズデーということで、HIV・エイズのことを特集しちゃいます！

HIVにはどうやって感染するのですか？

HIVは、血液、精液、^{ちっ}膣分泌液、母乳の中にいます。それらが、粘膜や傷口をから他の人の体内に入ると感染の危険があります。粘膜とは...目・口の中・尿道・直腸(肛門)・膣^{ちっ}などの部分をいいます。

HIV感染する危険性がある行為

一番多い感染経路！



2. 血液感染

麻薬の回し打ちなどで感染するのだ



母親がHIV感染していると、赤ちゃんに感染させる場合があります。

3. 母子感染



性感染症になっているとHIV感染する危険が高くなるって本当？

HIV感染症も性感染症のひとつですが、性器クラミジア、淋菌^{りんきん}感染症などの他の性感染症になっていると、HIVに感染する危険性が数倍も高くなるといわれています。それは、他の性感染症になっ



ているために、HIVに感染する危険性が高いのです。

HIVは検査を受けないと感染しているか分からないって本当ですか？

HIVは感染すると、感染初期に風邪に似た症状が出ることもありますが、出ない場合もあります。また、風邪に似た症状があっても、その症状だけでは風邪かHIV感染によるものなのか判断できません。ですから、感染していないかを調べるのは検査を受けるしか方法がありません。

HIV検査を受けることの大切さ！

検査を受けることで早期に感染を発見できれば、早く治療を開始しAIDS発症を遅らせることができます。そのためにも、検査を受けることが大切なんですよ！

HIV検査の場所は
ここで調べてね
HIV検査相談マップ
<http://www.hivkensa.co>



何事も予防第一！

HIVに感染しないためには、HIVについて正しい知識を身につけることと、ちゃんと予防をすることです。

予防方法とは...

性的接触をしないこと！
もし、性的接触するならコンドームを使うこと！
でも、正しく使用しないと無意味なのだ！
コンドームの正しい使用法はここを見てね
<http://www.yaic.jp/category/condom>
以上！みんな、覚えたかな？

最後に...

昔は、「AIDS = 死の病」というイメージがありましたが、現在では早め発見して適切な医療を受ければ、AIDS発症を遅らせることができます。しかし、一番大事なのは感染しないことです。HIVに感染しないためには、他人事と思わず、ちゃんと自分で予防をすることです。

